

救急活動時の服装（感染防護服）について

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、尊い命が奪われています。

日本国内においては、感染者数が減少傾向となり、緊急事態宣言が一部で緩和されていますが、まだまだ医療従事者および救急隊は気を緩めていません。

今日、皆様にお伝えしたい事は、発熱や倦怠感、呼吸器疾患が伴う傷病者を搬送する場合は写真の様な姿で、出動するよう国から指導されているため、風邪や花粉症の症状でも、念のため感染防護服を着て活動する場合がありますということです。

もし救急隊がコロナウイルスに感染し、救急患者さんにうつしていたとしたら、大変なことです。

コロナウイルスを「うつさない・うつらない」為に救急車内や使用器具の消毒をはじめ、消防職員は精一杯頑張っていますのでご理解、ご協力をお願いします。



救急隊の感染防護：感染防護衣、N95マスク・ゴーグル・ゴム手袋・シューズカバー

皆さんが手洗いやマスクをしている理由は何故ですか？

「新型コロナウイルスに感染したくない」だけじゃありません。

あなたが知らぬ間に、新型コロナウイルスに感染していた場合、大切な家族や周囲の方にうつさないためにも、手洗いやマスクの実施をお願いします。